

〈解答〉

- ① 1 (1) 栽培漁業
(2) コンビナート
(3) 三角州 (漢字3字指定)
(4) ①：季節風 ②：〔例〕さえぎられる (両解)
- 2 イ

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 (1) 稚魚などを、網に囲まれた「いけす」や人工の池を利用して繁殖させることを養殖といい、大きくなるまで育てたのち、魚を出荷する漁業を養殖漁業という。一方、人工的に育てた稚魚などを海や湖に放流し、自然の中で育った魚を大きくなった後で漁獲する漁業を栽培漁業という。養殖漁業と栽培漁業は「育てる漁業」と呼ばれている。
- (2) 中国・四国地方では、瀬戸内海沿岸に重化学工業が盛んな工業都市がならび、瀬戸内工業地域がつくられている。岡山県の倉敷市水島、山口県の周南市徳山、岩国市、愛媛県の新居浜市などにある石油化学コンビナートでは、関連する工場が集まり、たがいにパイプラインで結ばれて、効率のよい生産が行われている。
- (3) 広島市の中心部に広がる太田川の三角州は、地盤が軟弱なため大規模な地下鉄の建設は難しく、現在も路面電車が市民の重要な交通手段となっている。
- (4) 瀬戸内の気候は、季節風が山地にさえぎられるため、一年を通じて降水量が少なく温暖で、夏には水不足に悩まされることがある。太平洋側は、一年を通じて温暖で、季節風の影響により夏の降水量が多い。日本海側の東部では、冬の季節風の影響で雪が多く降り、気温も低くなる。
- 2 日本は、生産活動のもとになる資源について、その多くを品質が良く価格の安い海外からの輸入に頼っている。現在、原油は西アジアの国々を中心に、石炭、鉄鉱石は主にオーストラリアなどから輸入している。オーストラリアの次にインドネシアからの輸入が多いⅠが石炭、オーストラリアの次にブラジルからの輸入が多いⅡが鉄鉱石である。